

新人のプロフィール 〔4月1日付で統計課に配属された2名の新規採用者の横顔を紹介します。〕



出 会 い

企画分析担当
岡 田 崇 弘

人それぞれの人生は、偶然の連続の上に成り立っている。今、私がこうして文章を書いているのも偶然ならば、みなさんがこの拙文を目にしているのも偶然……。それと同じ様に、人との「出会い」も偶然性に支配されている様に思う。そして、その「出会い」の積み重なったものが、「人生」である様な気がしてならない。

* * *

住み慣れた仙台を離れて、新しい土地、新しい環境での生活。それに大分慣れた今では、県庁から寮に帰るのに、道に迷ったなどという事は笑い話である。

しかし考えてみると、それが笑い話になるのも、話をする相手が、回りにいてくれるからなのである。

ほんの数ヵ月前までは、全く面識のなかった方々の中に、今こうして居させてもらっている。それは同時に、新しい「出会い」の積み重ねでもある。



統計課に配属されて

人口労働統計担当
富 田 亮 二

よく、営業マン向きでない人が営業担当になると、徐々に営業マンらしくなるという。自分でらしく振舞う努力をするせいだと言われる。私も、はたして社会人（統計課の一員）として通用するようになるのかと不安に思いながらも、2ヵ月が経過し、大分、ネクタイ姿も板につき、社会人らしくなってきたのではないだろうか。

それでは、統計課に配属されて感じたことを述べよう。

まず第1に、上司・先輩方が、半人前の自分を1人の人間として尊重してくれるような気がする。このことは、新たなファイトが湧くと同時に、新採であるから多少大目に見てくれるだろうという甘い気持ちではいられないことを再認識した。さらに、裏を返せば、当然に1人前の仕事と

……人との「出会い」……時の流れに流されてしまう事なくしっかりと受け止めて、自分のものとしていきたいものである。

* * *

大学時代の先輩に、この「出会い」という言葉の好きな方がいた。そしてそれを大切にしたいとも言っていた。本音と本音で語り合えた時、初めてその人と「出会う」事ができるものであろう。そういった意味での「出会い」を一つでも多くしていきたいものだと思う。

* * *

それにしても、地図を片手に歩いて、それで道に迷ってしまうのだから困ったものである。最近、新治村の親戚の所から自転車を持って来たので、大分行動範囲も広がるだろう。それだけ道に迷う機会も多くなるという事でもあるのだが……。しかし、それも私にとって一つの快感になりつつある。現在地を把握して、目的地へ如何にたどり着くか思案するのもまた楽しい。道を人に聞きながら走るのも乙なものである。……人との「出会い」は何処にでもある。それを大切にしていけたら、とも思う今日この頃である。

責任を有することであり、若いエネルギーを仕事に傾注する義務を負うことだと思う。

次に統計課は、スポーツが盛んであることに驚いた。私自身、大学の教養部時の週一度の体育の授業以来、スポーツとは縁を切ったつもりでいたが、先天的な運動音痴でありながらも、野球、バレーボールの練習、試合に数度参加した。1日中机に座って仕事をする公務員は、とかく運動不足になりがちであり、また調査時の連日の残業に耐える体力を養ううえにも、さらに人的交流の場としても、このようなことは好ましいことであり、充分に必要であらう。

今後、仕事面において、様々な困難、つまりに出会うだろうが、先輩方の助言を仰ぎ、持ち前の不屈の精神？でそれらを乗り越切り、究極の目標を県民生活の向上に置きながらも、さしあたっては、統計課の一員として、安心して仕事をまかされるような立派な公務員になりたいと思う。

（はたして、このように考えるのは今時分だけだろうか）